

編 修 趣 意 書

(教育基本法との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-95	高等学校	国語	古典探究	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	古探 721 古探 722	探求 古典探究 古文編 探求 古典探究 漢文編		

1. 編修の趣旨及び留意点

本書は、高等学校学習指導要領「古典探究」に準拠して編修した教科書である。教育基本法第2条にある目標と「古典探究」の目標の両方の達成を可能にするため、言語を通して伝え合う力を高め、思考力・判断力・表現力を育成しつつ国語力を高められるよう、題材の選定と学習内容の構成・展開に留意した。

2. 編修の基本方針

教育基本法第2条に示す教育目標を達成するため、以下の点を編修の基本方針とした。

①指導しやすい2分冊形態と単元構成

多様な教育現場の学力レベルと指導形態に対応できるよう「古文編」「漢文編」の2分冊とした。

さらに「古文編」「漢文編」をそれぞれ「Ⅰ部」「Ⅱ部」の2部構成とし、ジャンル別単元とした。

②教材の配置と学習の指針

各教材は、内容のまとまり・指導の時間数を考慮したうえで適切な分量の優れたものを精選した。また、学習上・指導上の効果を考慮して、より易しいものから難しいものへと配列した。各教材の末尾には、「読解」「表現」「発展」の問題から成る「学習の手引き」を設けるとともに、各教材における最終的な言語活動の到達目標を示す「活動」を設定し、学習の指針となるようにした。

③教材の理解と主体的な言語活動

学習者の理解力養成のため、各教材の本文下段には内容理解を促す小問を付したほか、末尾の「学習の手引き」には内容理解を深め、主題に迫るための「読解」問題を必ず設けた。さらに、主体的な学びに誘うための言語活動を各教材に設けた。そのほか、言葉の特徴や使い方、言語文化に関する知識の学習に資するよう、「古文編」では重要古語を、「漢文編」では基本句形を、各教材の本文下段にまとめた。

3. 対照表

図書の構成・内容	特に意を用いた点や特色	該当箇所(ページ)
●古文編 Ⅰ部8単元 Ⅱ部8単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編Ⅰ部に8単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。 ②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、古文編Ⅰ部に8単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)。	①古文編 8~147ページ 158~281ページ ②古文編 8~147ページ 158~281ページ
●古文編 Ⅰ部「随筆Ⅰ」単元	①古文編Ⅰ部に「随筆Ⅰ」単元を設け、個人の生き方を考える7教材を配した(第2号)。	①古文編 16~31ページ
●古文編 Ⅰ部「随筆Ⅱ」単元	①古文編Ⅰ部に「随筆Ⅱ」単元を設け、自然と環境を考える4教材を配した(第4号)。	①古文編 58~65ページ

●古文編 Ⅱ部「随筆」単元	①古文編Ⅱ部に「随筆」単元を設け、自然と環境を考える4教材を配した(第4号)。	①古文編 158～167ページ
●古文編 Ⅱ部「日記」単元	①古文編Ⅱ部に「日記」単元を設け、女性の生き方を考える8教材を配した(第3号)。	①古文編 168～187ページ
●古文編 Ⅰ部「古文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、古文編Ⅰ部に「古文解析」を設け、2教材を配した(第1号)。	①古文編 130～133ページ
●古文編 Ⅰ部「文法の要点」 1～3	①伝統と文化を尊重する態度を養い、文語の決まりや表現の特色などへの理解を深められるよう、古文編Ⅰ部に「文法の要点」1～3を設けた(第5号)。	①古文編 148～156ページ
●古文編 Ⅰ部 小林秀雄 「平家物語」	①伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への興味・関心を広げられるよう、古文編Ⅰ部に古文を現代からの視点で読み解く教材「平家物語」を配した(第5号)。	①古文編 92～97ページ
●漢文編 Ⅰ部7単元 Ⅱ部8単元	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、漢文編Ⅰ部に7単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第1号)。 ②伝統と文化を尊重する態度を養い、伝統的な言語文化への理解を深められるよう、漢文編Ⅰ部に7単元、Ⅱ部に8単元を設け、多彩な内容を持つ教材を配した(第5号)	①漢文編 8～81ページ 86～173ページ ②漢文編 8～81ページ 86～173ページ
●漢文編 Ⅰ部「故事・寓話」 「思想」単元	①漢文編Ⅰ部に「故事・寓話」「思想」単元を設け、個人の生き方を考える12教材を配した(第2号)。	①漢文編 8～16ページ 71～81ページ
●漢文編 Ⅱ部「史伝Ⅰ」 「史伝Ⅱ」単元	①漢文編Ⅱ部に「史伝Ⅰ」「史伝Ⅱ」単元を設け、個人と他者との関係を考える7教材を配した(第3号)。	①漢文編 94～99ページ 140～157ページ
●漢文編 Ⅱ部「思想」単元	①漢文編Ⅱ部に「思想」単元を設け、個人の生き方を考える9教材を配した(第2号)。 ②漢文編Ⅱ部に「思想」単元を設け、生命と自然を考える9教材を配した(第4号)。	①漢文編 158～169ページ ②漢文編 158～169ページ
●漢文編 Ⅰ部「漢文解析」	①幅広い知識と教養を身に付け、真理を求める態度を養えるよう、漢文編Ⅰ部に「漢文解析」を設け、3教材を配した(第1号)。	①漢文編 82～84ページ

4. 上記の記載事項以外に特に意を用いた点や特色

- ・一般的な教養を高めるとともに、専門的な知見に触れられるよう、「古文編」に「コラム(1～5)」、「漢文編」に「コラム(1・2)」を設けた。
- ・本文から見えてくる当時の世界観を解説した「古典世界ビュー」を、「古文編」Ⅰ部の7教材に、「漢文編」Ⅰ部の5教材に設けた。

編 修 趣 意 書

(学習指導要領との対照表)

受理番号	学 校	教 科	種 目	学 年
103-95	高等学校	国語	古典探究	
発行者の 番号・略称	教科書の 記号・番号	教科書名		
212 桐原	古探 721 古探 722	探求 古典探究 古文編 探求 古典探究 漢文編		

1. 編修上特に意を用いた点や特色

個々の教材の採録にあたっては、全体として、学習指導要領の「2内容」の各事項に沿った指導ができるよう、優れた表現と構成を持ち、主題や内容が明確で、適度な長さのものを厳選した。また、本文の学習をより深め、補佐するための資料として、「古文編」に「文法の要点」「コラム(1~7)」を、「漢文編」に「コラム(1・2)」を、「古文編」「漢文編」のそれぞれの巻頭巻末に「付録」を設けた。

2. 対照表

図書構成・内容		該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元		教材名	知識及び技能	A 読むこと
古文編 I部	説話	宇治拾遺物語 歌詠みて罪を許さること	8~10	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		古今著聞集 衣のたて	11~12	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		沙石集 勘解由小路の地藏	13~15	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
	随筆 I	徒然草 あだし野の露消ゆるときなく	16~17	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 家居のつきづきしく	18~19	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 これも仁和寺の法師	20~21	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ
		徒然草 ある者、子を法師になして	22~23	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		徒然草 主ある家には	24~25	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		方丈記 行く川の流れ	26~27	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク
		方丈記 安元の大火・治承のつじ風	28~31	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	物語と日記	竹取物語 天の羽衣	32~36	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 初冠	36~37	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		伊勢物語 月やあらぬ	38~39	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 行く蛍	39~40	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		伊勢物語 狩りの使ひ	41~43	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		伊勢物語 つひに行く道	44	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		大和物語 姨捨	45~47	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		[比較で深める] 夜もすがら月を見て、ながめける歌 [俊頼髄脳]	48	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		更級日記 門出	50~51	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		更級日記 物語	52~55	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		[コラム1] 女手(平仮名)と平安時代の文学	56~57	(2)アウエ	—
	随筆 II	枕草子 うつくしきもの	58~59	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		枕草子 木の花は	60~62	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		枕草子 中納言参りたまひて	62~63	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		枕草子 雪のいと高う降りたるを	64~65	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ

図書の内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと	
古文編 Ⅰ部	歴史と軍記	大鏡 雲林院の菩提講	66～69	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		大鏡 花山院の出家	70～72	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		大鏡 三船の才	73～74	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエオ	
		大鏡 道長と伊周の競射	75～77	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		「平家物語」構成と概観	78～79	(2)アウエ	—	
		平家物語 忠度の都落ち	80～83	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク	
		平家物語 宇治川の先陣	84～88	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		平家物語 先帝入水	88～91	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエク	
		小林秀雄「平家物語」	92～97	(2)アウエ	(1)オカキク	
	物語	「源氏物語」構成と概観	98～99	(2)アウエ	—	
		源氏物語 光源氏の誕生	100～103	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		源氏物語 光源氏と藤壺	104～105	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオキ	
		源氏物語 若紫との出会い	106～111	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		[コラム2] 海を越える『源氏物語』	112	(2)アウエ	—	
	和歌と俳諧	和歌 春秋／恋／離別・旅・哀傷	113～120	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)カキク	
		俳諧 発句	122～125	(1)アイエ(2)アウエ	(1)カキク	
		俳諧 連句	126～129	(1)アイエ(2)アウエ	(1)イカキ	
	古文解析	解析①「継母との別れ」〔更級日記〕	130～131	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		解析②「旧都の月」〔平家物語〕	132～133	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
	近世文学	日本永代蔵 世界の借屋大将	134～139	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオカ	
		[コラム3] 守銭奴から商人の鑑へ	140	(2)アウエ	—	
		雨月物語 浅茅が宿	141～147	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイキ	
	文法の要点	●文法の要点1 識別	148～151	(1)ア	—	
		●文法の要点2 敬語	152～153	(1)ア	—	
		●文法の要点3 和歌	154～156	(1)エ	—	
	古文編 Ⅱ部	随筆	枕草子 すさまじきもの	158～160	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
			枕草子 野分のまたの日こそ	161～163	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
枕草子 二月つごもりごろに			164～165	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
枕草子 大納言殿参りたまひて			166～167	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク	
日記		蜻蛉日記 嘆きつつひとり寝る夜	168～170	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ	
		蜻蛉日記 鷹を放つ	170～172	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		和泉式部日記 夢よりもはかなき世の中を	173～175	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク	
		和泉式部日記 有明の月に	176～178	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ	
日記		紫式部日記 水鳥に思いよそえて	179～180	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウク	
		紫式部日記 日本紀の御局	181～183	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ	
		建礼門院右京大夫集 かかる夢見ぬ人やいひけむ	184～185	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ	
		建礼門院右京大夫集 今や夢昔や夢と	186～187	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ	
物語		源氏物語 藤壺の里下がり	188～192	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		源氏物語 葵上と物の怪	193～197	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ	
		源氏物語 柏木と女三宮	198～202	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウエ	
		源氏物語 紫上の死	203～206	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウカ	
		[コラム4] 原文を読み解く魅力	207	(2)アウエ	—	
		源氏物語 匂宮と浮舟	208～212	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		堤中納言物語 虫めづる姫君	213～215	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
		松浦宮物語 梅里の一夜	216～219	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	

図書の内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容		
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと	
古文編 Ⅱ部	評論Ⅰ	古今和歌集仮名序 やまと歌は	220～221	(1)アイウエ	(1)アイク	
		俊頼髄脳 和歌の効用	221～223	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
		無名抄 俊成自賛歌のこと	224～226	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク	
		去来抄 行く春を	227～228	(1)アイウエ	(1)アイカキ	
		去来抄 岩鼻や	228～230	(1)アイウエ	(1)アイキク	
		三冊子 師の風雅	231～233	(1)アイウエ	(1)アイエク	
	歴史と伝説	大鏡 菅原道真の左遷	234～238	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		大鏡 道長の豪胆	238～242	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		古事記 倭建命	243～247	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカ	
	評論Ⅱ	無名草子 小野小町	248～250	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
		風姿花伝 秘する花を知ること	251～253	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
		難波土産 虚実皮膜の論	254～256	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカ	
		玉勝間 師の説になづまざること	256～259	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
		源氏物語玉の小櫛 もののあはれ	260～261	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ	
	近世の文章・戯曲・和歌	柴門の辞 風雅の道	262～264	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイウ	
		おらが春 娘 さと	264～266	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイウ	
		雲萍雑誌 堪忍	266～268	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカ	
		曾根崎心中 徳兵衛お初道行	269～271	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイカ	
		近世和歌	272～273	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイク	
		狂歌	274	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイエ	
		[コラム5] 国語教科書の源流―「往来物」の話	275	(2)アウエ	—	
	古典世界の夜	星の夜の深さあはれ〔建礼門院右京大夫集〕	276～277	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオ	
		天下怪異のこと〔太平記〕	278～279	(1)アイウエ(2)アウエ	(1)アイオ	
		夜空を詠んだ和歌・俳諧	280～281	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイオ	
	漢文編 Ⅰ部	故事・寓話	画竜点睛	8	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
			漱石枕流	9	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
			病入膏肓	10～11	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
梁上君子			11～12	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
先従隗始			13～14	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
杞憂			14～15	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
史伝Ⅰ			赤壁の戦い	17～19	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		「史記」構成と概観	20～21	(2)アウエ	—	
		背水の陣	22～25	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク	
詩		絶句 秋風引(劉禹錫)	26	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		絶句 雑詩(王維)	27	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
		絶句 望廬山瀑布(李白)	28	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		絶句 芙蓉楼送辛漸(王昌齡)	29	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		律詩 臨洞庭(孟浩然)	30	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		律詩 登高(杜甫)	31	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		古体詩 桃夭	32	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ	
		古体詩 行行重行行(無名氏)	33	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
		古体詩 七歩詩(曹植)	34	(1)アイエ(2)アイウエ	(1)アイキ	
古体詩 勅勒歌(無名氏)		34～35	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ		

図書の内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容	
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと
漢文編 I部	日本の漢文	対花懐昔	37	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ
		題不識庵攀機山図	38	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ
		夏夜	39	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ
		思君	40	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイキ
		〔コラム1〕日本漢詩—模倣から創作、そして鑑賞する古典へ	41	(2)アウエ	—
		川中島の戦い	42～43	(1)アイエ(2)アウエ	(1)アイウオ
	文章	春夜宴桃李園序(李白)	44～45	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		桃花源記(陶潜)	46～49	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		師説(韓愈)	50～52	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
	史伝II	鴻門之会(一)沛公、項王に見ゆ	53～55	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		鴻門之会(二)樊噲、頭髮上指す	56～57	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		鴻門之会(三)臣死すら且つ避けず	58～59	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		鴻門之会(四)沛公、車騎を置きて脱す	60～61	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		鴻門之会(五)豎子、与に謀るに足らず	62～63	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウオ
		〔比較で深める〕留侯論〔文章軌範〕	64	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		〔比較で深める〕范増論〔文章軌範〕	65	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		四面楚歌(一)項王、悲歌忼慨す	66～68	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
	四面楚歌(二)項王、自刎して死す	68～70	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ	
	思想	論語	71～73	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		孟子 四端	74～75	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		孟子 性善	75～76	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		荀子 学不可以已	77～78	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		荀子 星隊木鳴	78～79	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
		荀子 性悪	79～80	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
	漢文解析	人主者以刑徳制臣〔韓非子〕	82	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		教学相長也〔礼記〕	83	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		聖人治天下〔孟子〕	84	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
漢文編 II部	逸話	不顧後患	86～87	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		孔明臥竜	88～89	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		三横	90～91	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		江南橘為江北枳	92～93	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
	史伝I	荊軻	94～96	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		子路(司馬遷)	97～99	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
	詩	月下独酌(李白)	100～101	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		兵車行(杜甫)	102～104	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		長恨歌(白居易)	105～112	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		〔コラム2〕「長恨歌」と紫式部——白詩受容の展開	113	(2)アウエ	—
	文章	漁父辞(屈原)	114～116	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		捕蛇者説(柳宗元)	117～120	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
		岳陽楼記(范仲淹)	120～123	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイキ
		壳柑者言(劉基)	124～126	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイウ
	伝奇小説	人面桃花(孟榮)	127～130	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
種梨(蒲松齡)		130～133	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
三夢記(白行簡)		134～139	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク	

図書構成・内容			該当箇所 (ページ)	学習指導要領の内容	
編	単元	教材名		知識及び技能	A 読むこと
漢文編 Ⅱ部	史伝 Ⅱ	廉頗と藺相如 (一)壁を完うして趙に帰る	140～144	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		廉頗と藺相如 (二)澠池の会	144～147	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		廉頗と藺相如 (三)刎頸の交はり	147～149	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイオ
		蘇武と李陵 (一)蘇武、南に郷かひて号哭し血を啜く	150～154	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイエ
		蘇武と李陵 (二)李陵、遂に匈奴に死せり	154～157	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイク
	思想	老子 無用之用	158	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		老子 大道廃有仁義	158～159	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		荘子 蝴蝶之夢	159～160	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		荘子 渾沌	160	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		荘子 言、大而無用	161～162	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		韓非子 侵官之害	162～163	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		韓非子 処知則難	164～165	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
		墨子 非攻	166～168	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
	性非学者之所急 (荻生徂徠)	168～169	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
	政治と人間	以無事取天下〔老子〕	170～171	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ
不能与君陷難〔説苑〕		171～172	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	
路不拾遺〔十八史略〕		172～173	(1)アイウエ(2)アイウエ	(1)アイカ	